

表① ■ 新板仮名手本忠臣蔵飛廻双六の構成（筆者推定）

ぬ・同 松のろうか	る・来世の忠義	を・四切 城わたし		わ・諸士	か・五つ目 対めん	よ・五つ半 縞のさいふ
り・四の口 花ぞろえ	ふ・同 手のうち	こ・切 山科の段	へ・十段目の切	て・伊五人形廻し	あ・変ぜぬ心	た・おんないの二つ玉
	け・こむそう	上 す・柴部屋		さ・発足の櫛笄（こうがい）		れ・六つ目 みさきおどり
ち・三だんめ 切	ま・たびじの嫁入			き・手打そば		そ・六つ目 ひつ
と・恋歌のいしゅ	や・九口 雪こかし	せ・座しき	も・土ばし	め・十一段目 門ぜん	ゆ・両國橋	つ・六切 さいふの連判
へ・三の口 進物場	く・行列	ひ・おたふく	し・へいじ門			ね・七つ目 茶屋場
ほ・同 切	お・八つ目 道行	ゑ・げん関	み・おもて門	う・同 釣りとうろう	む・同 月のいり	な・同 壱りき
に・かんげんの寝刃	の・七切 本ぞうおい	ゐ・同 兄弟の対面				い・大序 鶴ヶ岡
	は・二ノ口 使しや	ろ・同 恋歌				